

飯能西中だより



天覧山 6月号

飯能市立飯能西中学校
学校だより
令和5年度 第3-1号
令和5年6月6日発行

<校訓> 誠・和・進 <学校教育目標> 自立 共生

<目指す学校像> 心のよりどころとなる世界に誇れる学校

一人ひとりが大切にされていることが実感でき家に帰った時に元気よくたぐいませる学校でありたい
飯能西中学校スクールアイデンティティー

生成型AIについて考える

校長 中村 公一

新緑が鮮やかで爽やかな季節となりました。連休から梅雨入りまでのわずかな期間は一年の中で最も爽やかな時期と言えます。このような中で開催された先日の飯能新緑ツーデーマーチでは、数年ぶりに中学生ボランティアの募集があり、本校からも多くの生徒がボランティアとして参加してくれました。率先してボランティアに協力してくれた生徒のみなさんや、イベントに協力し会場で演奏してくれた吹奏楽部のみなさんには心から労いと感謝の言葉を贈りたいと思います。

さて、5月に開催されたG7広島サミット（第49回先進国首脳会議）に合わせて日本各地で関係閣僚会合が行われましたが、そのうち群馬県高崎市で開かれたデジタル・技術大臣会合では、近年の情報技術の発達によって身近になってきたAI（人工知能）の取り扱いについて協議されました。みなさんもお存じの通り、このところChatGPTに代表されるような生成型AI（生成AIともいいます）を利用することについての功罪が話題になっています。AIは知能といっても人間の脳のように深く考えて（ディープシンキングして）新しい知を生み出しているわけではなく、ビッグデータをもとに最適だと言えそうな答えを推測しているにすぎません。けれども人間の経験や勘に比べたらその信頼度は遙かに高く、その上、最近では人間の脳の神経回路の構造をもとにしたニューラルネットワークの技術や、私たちが使っている自然言語の処理を飛躍的に高めるトランスフォーマーと呼ばれる画期的な考え方なども現れ、大量のデータをコンピュータに学習させることで人間と同じような判断を機械が出来るようにする深層学習（ディープラーニング）の技術が飛躍的に進歩しています。これにより、これまではコンピュータがなかなか答えることができなかった人間の話し言葉のような質問や要求に対しても、短時間で精度の高い答えを返すことが出来るようになったため、ここへ来てにわかに脚光を浴びるようになったわけです。人間と話しているときと同じようにAIが応答することから対話型AIと呼ばれたり、ビッグデータを基にして人間の要求通りの画像や文章を生成出来ることから生成型AIと呼ばれていますが、今後いろいろな場所で使われるようになるのは間違いないでしょう。

ところでこのような生成型AIあるいは対話型AIは、上手に使いえば業務の大幅な効率化に繋がると期待されています。例えば銀行や役所での窓口業務などは対話型AIに任せることによって人件費の削減だけでなく、単純な間違いをなくすることができるので大幅な業務の効率化に繋がります。しかし、判断の材料としてAIが用いるのはネットなどで集積されたデータなので、もしも誤った情報がネット上に溢れていたり、間違った情報を意図的に流されていた場合には、AIが間違った判断をしてしまうことがあり得るわけです。もちろんこうした誤りを防ぐ技術も進んでいるわけですが、生成型AIの構造を少しだけでも理解しておき、AIの出す結果を鵜呑みにしないよう心がける必要があるでしょう。生成型AIは短時間で精度の高い結果を示してはくれますが、それに至った根拠はだれにもわかりませんし説明もしてくれません。また、人の心や感情というものも理解していませんから、感想文やレポートの作成に使うのはよくありません。もしも先生たちが生徒のみなさんの通知表の所見を生成AIを使って書いたとしたらどう思うでしょう。AIに任せていいことと、AIに任せてはいけないことをきちんと理解しておかなければなりません。

ツデーマーチボランティア

5月27日(土)、28日(日)に開催された飯能新緑ツデーマーチには多くの生徒がボランティアとして参加しました。また、吹奏楽部のみなさんは会場の雰囲気を盛り上げるために中央公園で演奏を披露するなど、飯能市を挙げてのイベントに多くの西中生が進んで参加してくれたことをうれしく思います。当日の遅刻や欠席もなく、参加態度も大変よかったですとお褒めの言葉をいただきました。これからの学校においては生徒にどのようにして社会参画の体験をさせているかが問われることとなります。こうしたボランティア活動の経験はやがて社会に出るときに役立つときが来るのではないかと思います。



高校進学など進路決定に向けた取り組みを始めましょう

生徒の皆さんへ

高校や専門学校など中学卒業後に何らかの学校に進学しようと考えている人は多いと思いますが、たくさんある学校の中から自分にふさわしい学校を見つけるのはなかなか難しいものです。それぞれの学校の特色を理解し、それらを比較検討しなければならないからです。その際、とても役に立つのが複数の学校が出展する進学相談会や説明会です。特に、毎年7月にさいたまスーパーアリーナで開催されている「彩の国進学フェア」は公立、私立共に参加校の数が最も多く、一日で複数の学校の説明が聞けるので高校を比較しやすいのと同時に、時間の節約にもなります。また受験用の参考書なども合わせて購入できるのでお勧めです。私の娘が中学生だったときには2年生の時から参加しました。さいたま市方面では中学1年生や中学2年生の参加者も多く、高校進学に向けた意識の高さが窺えます。目標とする高校を先に決めることができれば学習に対する姿勢も自ずと前向きになります。今年の主な進学フェアを下にまとめてみました。参考にしてみてください。

○2023彩の国進学フェア 7月15日(土)、16日(日) さいたまスーパーアリーナ
例年だと参加者数が多く入場までの待ち時間がとても長くなるのが予想されます。

○さいたま私学フェア 8月19日(土)、20日(日) ウェスタ川越
私立のみの出展です。公立高校はありませんので注意が必要です。

○東京私立中高進学相談会 5月28日(日) 浦和コルソ、7月9日(日) 川口キューポ・ラ
浦和会場はすでに終了しているので川口会場のみです。

※入場予約が必要な会場がありますので、必ずホームページ等で確認してください。

○ 6月の主な行事予定 ○

2日(金) 小中連絡会 小学校の先生が授業を見に来ました。	17日(土) 奥武蔵ロングトレイルレース 16日の夕方から17日朝まで体育館使用
6日(火) 高等学校出前授業(2、3年生) 高等学校説明会(3年生)	20日(火) 耳鼻科検診
12日(月) 生徒会朝会(学総壮行会)	23日(金) とうのす交流会
13日(火) 学校総合体育大会 給食なし	24日(土) 地区代表決定戦、漢字検定 陸上学校総合体育大会
14日(水) 学校総合体育大会 給食なし 通信陸上県大会(15日まで)	29日(木) 期末テスト、給食なし
	30日(金) 期末テスト、給食あり 部活なし